学校教育目標　「ふるさと“須恵”を愛し 志をもって 自己の未来をたくましく切り拓く生徒の育成」

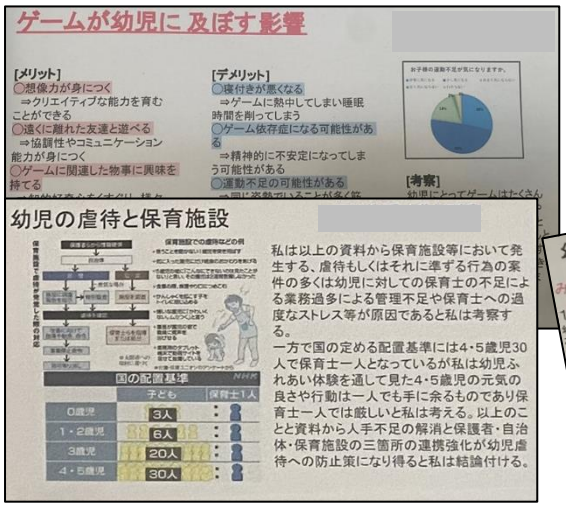
「鍛えて、ほめて、見届けて」須恵中生の良さや頑張りが輝く学校づくり

生活に生かす学び

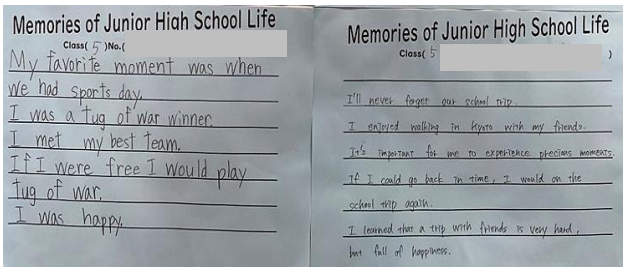
１学年の家庭科の授業で、郷土の素材を生かした調理実習が行われていました。メニューは、かしわご飯、筑前煮、すまし汁です。レシピを確認し、班員と協力して作った料理は、とても美味しそうで笑顔がはじけていました。作る喜び、食べる喜びを実感する体験的な学びです。２学年では裁縫の製作活動、３学年では保育体験等と、実生活につながる学びが行われています。１学年の技術科の授業では、パソコンのタイピングの練習が繰り返し行われています。正しい指つかいで正確さと速さのタイピング力を身に付けていきます。２学年では非常時に活用できるLEDペンライトの製作、３学年ではプログラミングと、生活に密着する実践的な学習を積み重ねています。持続可能な社会に求められる力を身に付けていく学びの累積です。

家庭科調べ学習レポートに興味津々

命、健康につながる発信！



１階調理室前に家庭科授業で取り組んだレポートが掲示されています。３学年が幼児の発達と生活の学習で、テーマを決めた調べたものがまとめられています。「ゲームが幼児に及ぼす影響」「幼児はなぜ転びやすいのか？」「幼児の虐待と保育施設」「運動能力や基礎体力の減少」「スマホがおよぼす危険」「なぜ防げない？置き去り事故」など、社会問題や生活に係る問題に着眼した内容が多く見られました。この問題は、小・中学生期にも通じます。また、１学年は着色料検出実験の結果が示されていました。このジュースにこれだけの着色料があるか、を見て確認できる資料です。命を守る、心身の健康をつくる、発信力のあるレポートです。

Memories Junior High School Life

３年生の廊下の掲示物には、英語の課題が掲示されています。中学校での思い出を英文でまとめられています。それぞれの思いを英語でも伝えられるってすてきですね。グローバル化が進む中で英語を学ぶ必要性も高まっています。３年間での学びを生活や次のステージで生かしていきましょう。